

6841

軍極秘

昭和十七年六月分

香港方面部隊  
西封鎖部隊

卓山丸  
戰鬥詳報

馬公防備隊

小番號 2/15

調査  
17.7.28  
接受

# 卓克凡戰鬥詳報

昭和十七年六月五日

自 〇〇七〇〇  
至 〇〇八二〇

## 一 情況並目的

北海白龍尾方面沿岸漢民ヨリ得タル情報ニ依ルハ最近我軍、沿岸封鎖作戦、完壁ハ佛印國境東興、Mangay方面ヨリスル敵性物資密輸ハ益々困難ナリタル模様ナルモ機ヲ見テ我方ハ嚴重ナル封鎖線ノ突破ヲ企圖シ或ハ先填砲其他小銃等多数武器ヲ備ヘタル大型或充ヲ以テ強行密輸ヲナシタル情況確實ニシテ我方小型警備艇(大發等)ニシテ發砲抵抗ヲ受ケシ例少シトセス。

(b) 右ノ如キ情報ニ基キ本艇ハ該方面ニ於ケル敵監視ヲ益々嚴ニスルト共ニ密輸或充ノ掃蕩ニ任ジ最近燒却又ハ沈没セシメタル武装或充ハ八度又ニ違シ海上輸送路徹底的覆滅ヲ期シ使命達成ニ邁進セントス。

六月四日一六三〇頃、滿潮時ヲ期シ大沙附近ニ進出、夜間、警備艇ニ當

リクルニ同夜下ニ大型或克ヲ認メ陸岸近ク海底遠淡クノ接  
近スルヲ得ズ其他異常ナシ

六月五日〇七〇〇西方向八〇〇米附近ニ於テ二枚帆大型或克一隻針路  
ヲ安舗港方面ニ向ケ航走スルヲ認メ直チニ拔錨臨檢ニ向テ

巨離約一〇〇米附近ニ於テ或克上ニ人影ヲ認メズ逃亡徴又無テ約

七〇〇米附近ニ於テ七七耗機銃ノ威嚇射撃ヲ行ヒツ、約六〇〇米ニ

接近セルニ該或克右舷ヨリ突如先頃砲ニ内竝ニ小銃約十挺一斉

射撃ヲ以テ抵抗シ来レリ或克兵ニ人影ヲ認メ得ザリシ本艇接近

ヲ知リ豫メ戦斗態勢ヲ整ヘ身ヲ遮蔽シ居タルモト認メラル

〇七一五我々又機ヲ逸セス六種砲七七耗機銃輕機小銃ヲ以テ應戰

セリ敵ハ本艇近巨離ニ迫レト見テ先頃砲ヲ發砲其他常時小銃

ヲ以テ應戰ニ抵抗ヲ續行セリ。〇七四五敵或克ハ我砲撃ニ依リ多數

ノ大破孔ヲ生ジ浸水セルモノ如ク。〇八〇〇ニ至リ台部居住區附近ヨリ

月日	曜日	時刻	事
六	五	全	<p>天候 半晴 風向 南西 風速 = 氣温 三一〇</p> <p>〇六四五 右十度八〇〇米ニ大形玉或克一發後見被鎗臨檢ニ向テ</p> <p>〇七〇五 配置ニ就テ</p> <p>〇七〇五 七七種機銃小銃威嚇射撃開始</p> <p>〇七一五 六種砲 輕機射撃開始</p> <p>〇七四五 砲撃ニ依リ多數大破孔ヲ生ジ浸水セテ認ム</p> <p>〇八〇〇 砲撃ニ依リ右側居住區附近ヲ火災ヲ起ス</p> <p>〇八二〇 敵或克撃ヲ行方止メ要具収ム</p>

一 火災ヲ起シタルニ尚抵抗ヲ中止セズ。八二〇ニ至リ我的確ナル砲撃功  
 ヲ奏シ遂ニ沈没状態ニ陥リタルヲ以テ我々射撃ヲ停止セリ  
 二 戰鬥對執カ圖別圖通り  
 三 行動竝ニ經過

〇八三〇 細洲島ニ向テ

四 成果放ニ所見

(一) 大形兵器一隻放ニ載貨炎上沈没セシメ敵約ニ名ヲ全滅ス

(二) 我ニ損害ナシ

(三) 夜射彈教ニ種砲 四四 七七 掃蕩銃 セーシ 輕機小銃 六五三

(四) 敵ニ兵器心員武器多教ヲ亡失セルミナラス敵側放ニ密輸業者

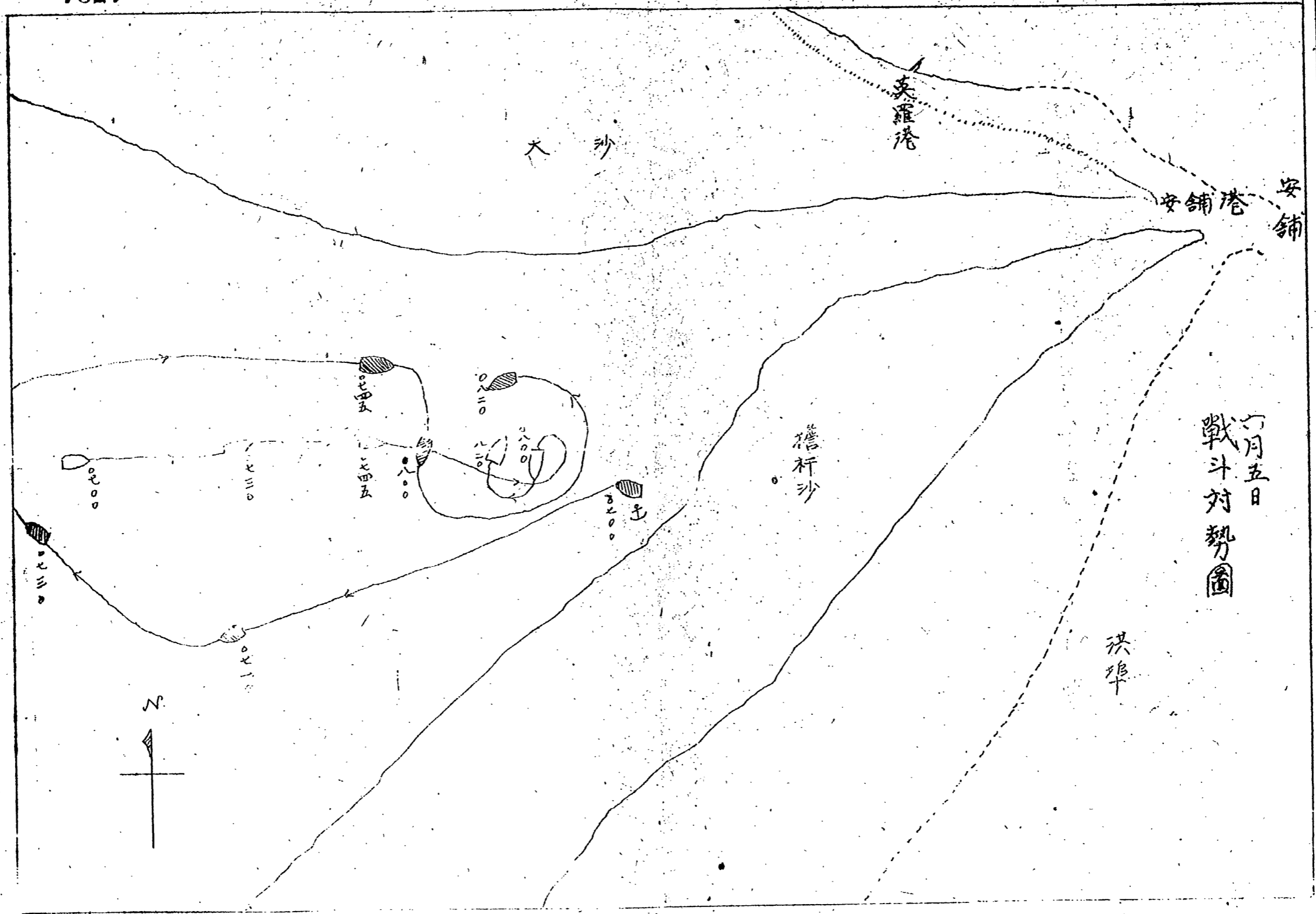
ニ與ヘタル精神的打撃等ハ至大ナルキト認ム

亦該方面於ケル諸物資独度ニ欠乏シ居ルハ將來尚同様方法ニ敵

性物資ノ搬入ヲ續行スルモト思考セラルニ付警戒監視ヲ益々嚴

シ封鎖完壁ヲ期スル要アリト認ム

(終)



五月五日  
戰鬥對勢圖

1795

軍極秘

昭和十七年六月分

香港方面部隊  
西封鎖部隊

卓山丸  
戰鬥詳報

馬公防備隊

小番號  
3  
15

寧山丸戰鬥詳報

昭和十七年六月五日

自 〇七〇〇  
至 〇八〇〇

一 情況並目的

(1) 北海白龍尾方面沿岸漢民ヨリ得タル情報ニ依ル最近我軍、沿岸封鎖作戦、完壁ハ佛印國境東興、Macao方面ヨリスル敵性物資密輸ハ益々困難トナリタル模様ナルモ機ヲ見テ我方、嚴重ナル封鎖線ノ突破ヲ企圖シ、或ハ先填砲其他小銃等多数ノ武器ヲ備ヘタル大型戎克ヲ以テ強行密輸ヲナシタル情況確實ニシテ我方小型警備艇(大發等)ニシテ發砲抵抗ヲ受ケシ例少シトス。

(2) 右ノ如キ情報ニ基キ本艇ハ該方面ニ於ケル敵監視ヲ益々嚴ニスルト共ニ密輸戎克、掃蕩ニ任ジ最近燒却又ハ沈没セシメタル武装戎克ハ八隻ニ達シ海上輸送路徹底的覆滅ヲ期シ使命達成ニ邁進セントス。

(3) 六月四日一六三〇頃、滿潮時ヲ期シ大沙附近ニ進出、夜間、警戒ニ當



リクルニ同夜十二大形式克ヲ認メタルモ陸岸近ク海底遠淡クノ接  
 近スレヲ得ズ其他異常ナシ  
 六月五日の七〇の西方約八〇〇米附近ニ於テ二枚帆大型式克一隻針路  
 ラ安鋪港方面ニ向ケ航走スルヲ認メ直チニ拔錨臨檢ニ向フ  
 巨離約一〇〇米附近ニ於テ式克上ノ人影ヲ認メズ逃亡ノ徵又無シ約  
 七〇〇米附近ニ於テ七七耗機銃威嚇射撃ヲ行ヒツ、約六〇〇米ニ  
 接近セルニ該式克右舷ヨリ突如先頃砲ニ内竝ニ小銃約十挺一斉  
 射撃ヲ以テ抵抗シ来レリ式克兵ニ人影ヲ認メ得ザリシ本艇接近  
 ヲ知リ豫メ戦斗態勢ヲ整ヘ身ヲ遮蔽シ居タルモト認メラル  
 の七一五秒又機ヲ逸セズ六糎砲七七耗機銃輕機小銃ヲ以テ應戦  
 セリ敵本艇近巨離ニ迫ルト見テ先頃砲ヲ發砲其他常時小銃  
 ヲ以テ應戦ニ抵抗ヲ續行セリ。七四五敵式克ハ我砲撃ニ依リ多數  
 大破孔ヲ生ジ覆水セルモノ如ク。八〇〇ニ至リ台部居住區附近ヨリ

月日	曜日	時刻	記事
六	五	金	<p>天候 半晴 風向 南西 風速 二 氣温 三二・〇</p> <p>〇六四五 右十度八〇〇米ニ大型或克一連又發見被鎗臨檢ニ向テ</p> <p>〇七〇五 配置ニ就ク</p> <p>〇七・五 七七程微銃小銃威嚇射撃開始</p> <p>〇七・五 六程砲 輕機射撃開始</p> <p>〇七四五 砲撃ニ依リ多數大破孔ヲ生ジ後水セムヲ認ム</p> <p>〇八・〇 砲撃ニ依リ右部居住區附近ヨリ火災ヲ起ス</p> <p>〇八・〇 敵或克撃隊現行方ハ人 要具収ム</p>

二 火災ヲ起シタルニ尚抵抗ヲ中止セズ。八二〇ニ至リ我的確ナル砲撃ヲ功  
ヲ奏シ遂ニ沈没状態ニ陥リタルヲ以テ我又射撃ヲ停止セリ

三 戦斗對執カ圖別圖通り  
行動柱ニ經過

〇八三〇 湘洲島ニ向テ

四 成果竝ニ所見

(1) 大型式克一隻竝ニ載貨炎上沈没セシノ敵約ニ名ヲ全滅ス

(2) 我ニ損害ナシ

(3) 發射彈數六種砲 四四 七七輕機銃七一 輕機小銃六五三

(4) 敵ニ式克心算武器多敷ヲ亡失セルノミナラス敵側竝ニ空輸業者

ニ與ヘタル精神的打撃ハ至大ナルモノト認ム

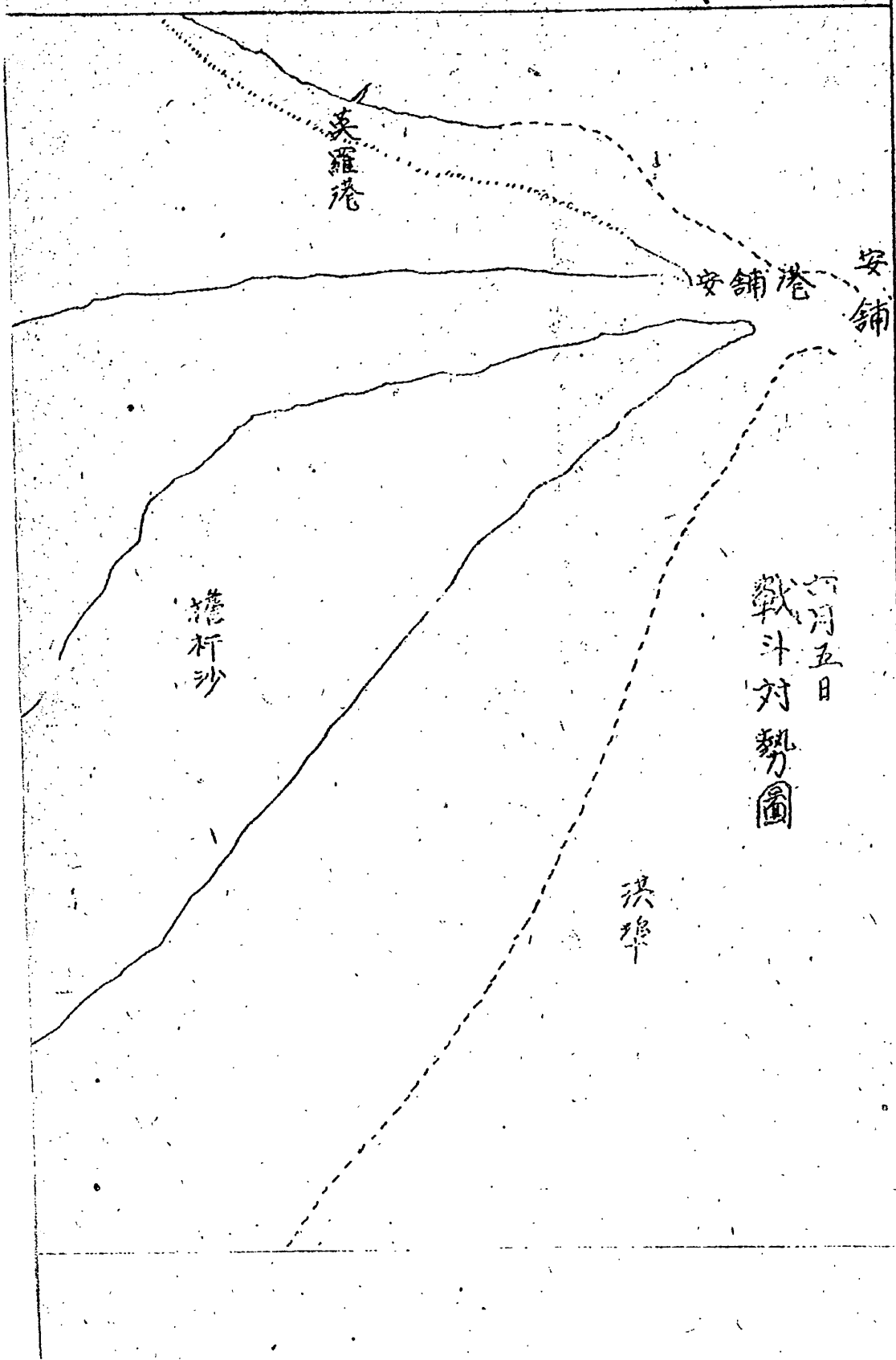
亦該方面ニ於ケル諸物資積度ニ欠乏シ居ルハ將來尚同様方法ニ敵

性物資搬入ヲ續行スルモノト思考セラルルニ付警戒監視ヲ益々嚴

シ封鎖完壁ヲ期スルニ要アリト認ム

(終)

1800



草山機密第六號

昭和十七年八月二日

草山丸艇長

海軍省武功調査委員殿

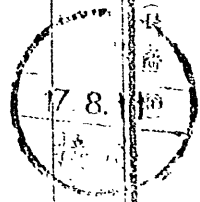
戦時日誌送付票

一、草山丸戦時日誌(七月分)

右送付候也

貳部

(終)



1802

軍極秘

昭和十七年七月分

第十五警備隊 草山丸戦時日誌

馬公防備隊

小 番 號	1 14
-------------	---------

17.8.11  
接受

下士官兵

准士官以兵

草山丸艇長

海軍豫備中尉小玉五郎

主計科	看護科	機関科	兵科
下士官	下士官	下士官	下士官
一	一	四一	七五
一	一	五	一 二

經過

月日	曜	時刻	記 事 天候 曇 風向 南東 風速 二 氣強 三 八五 香港泊 (補給休養)
七一	水		

至要令達報告等

ナシ

經過

七一	水		天候 曇 風向 南西 風速 二 氣強 三 八五 香港泊 (補給休養)
----	---	--	---------------------------------------

至要令達報告等

發率山外艇長

船務防微閣長

率山機密第四九番電

率山外燃料現狀及賞額報告(七月一日正午現在)品名(琥珀油現  
 在額六七八前十五日間消費額)三四四行動用 (終)



經過

七一三	全	天候 曇 風向 南西 風速 一 氣強 三。
		香港泊(補給休養)

至要令達報告等

十シ

經過

七一四	五	天候 曇 風向 南東 風速 三 氣強 三。
		香港泊(補給休養)
		燃料搭載(軍需部積荷積付)

至要令達報告等

發單山丸艇長

龍馬防機閣長

葉根松五。番帶

二〇〇。

葉山丸燃料受入報告受入七月四日供給所依軍需部香港支部品名ハ  
 煤油受入數量ハ。噸在庫ハ六一七八

(終)

經過

七 一 五	日	八 〇 〇	八 〇 〇	天候 曇 風向 西 風速 三 氣強 三〇。
九 〇 〇	日	九 〇 〇	九 〇 〇	香港發移動警戒 中角山島着警泊

主要令通報等

發 草山丸艇長

船馬警長 謀長 為防司令

草山機密第五〇番電

海南部隊兵力部署十五警三配原ヤル

(終)

發 草山丸艇長

船馬警長 謀長 十五警司令

草山機密第五〇番電

〇  
〇  
〇

(終)

五日八〇〇海口二向々香港發

經過

七 一 六	日	天候 曇 風向 南西 風速 三 氣強 三八。
-------------	---	------------------------

七 一 八	水	八 八 五 八 四 五	天候 曇 移動警戒 大型成鳥(隻)臨検異常ナシ	風向 南々西 風速 云 暴強 云々。
-------------	---	----------------------------	-------------------------------	--------------------------

経過

重要令 通報等 等 十 十

七 一 七	犬	八 八 〇 一 六 〇 二 四 〇	天候 曇 南明島發 移動警戒 大竹洲島着 警戒泊 大竹洲島發 移動警戒	風向 南々西 風速 四 暴強 云々。
-------------	---	---	--	--------------------------

経過

重要令 通報等 等 十 十

		八 〇 一 七 五	南明島發 移動警戒 南明島着 警戒泊	
--	--	-----------------------	-----------------------	--

二〇一
海口泊

主要令達報告等

發草山丸船長

宛海南參謀番根參謀十五警司令

草山機密第五二番電

七月八日一七三。草山丸ヲ率イ海口着

(終)

經過

七一九
木
海口泊(補給休養)

天候半晴風向南東風速五氣温三〇。

主要令達報告等

ナシ

經過

七一〇
金
海口泊(補給休養)

天候曇風向北北東風速四氣温三一。

主要令達報告等

ナシ

經過

七一
一土
海口 泊(補給休養)
天候曇風向北東風速五氣温三一。

主要令達報告等

發馬防司令

機密第六三四番電

宛草山丸ニ曳艇長

。九。。

二曳機関兵曹長外六名 草山丸七名 交替者ヲ一一日發

澎湖丸ニ便乘香港ニ向テ出發セシム

飯隊首八二曳八一九日頃香港發草山丸八一七日頃海口發、同

船ニテ飯隊セヨ

(終)

經過

七一
二日
海口 泊(補給休養)
天候曇風向北東風速三氣温三一。

経過

主要な達報告等

ナシ

七一三月	海口泊	天候曇風向ナシ風速ナシ 気温三一・五
------	-----	-----------------------

主要な達報告等

ナシ

経過

七一四月	海口泊	天候半晴風向ナシ風速ナシ 気温三一・〇
------	-----	------------------------

主要な達報告等

發十五警副長

宛一五警先任將校草山丸艇長

機密六二八番電

〇六二五

一、大坂方面殉職者、告別式、一八日(土)一〇・〇〇リ施行、予定(草山丸)

巡視時刻、同日一三・〇・變更

經過

二陸戰術講習員ハ作戰終了後ニ。日正午迄ニ便宜大致坡ニ  
 送レ(岡田隊ヲ除ク)東坡便ニテ送ラレ度  
 三陸戰術講習期間岡田隊ヲ一箇分隊ヲ大致坡冰遣隊  
 警備ヲ援助セシメラレル予定  
 四特別警備隊中遂中隊附トシテ左ノ通リ適任者配員予定  
 南渡江分遣隊及本部ヨリ各一  
 (終)

七一五	水	海口泊	天候曇風向北東 風速ニ 氣温三一。
-----	---	-----	-------------------

主要令達報告等

發草山丸艇長

宛馬防機 閣長

草山丸機密第五・四番電

行動用燃料及費額報告(七月十五日正午現在)重油現在額

一五三七五前一五日間費額、七八三

(終)

経過

七一六	木
海口泊	
天候曇風向南東風速三氣温三〇。	

主要令達報告等

ナシ

経過

七一七	金
海口泊	
天候曇風向西風速四氣温三一。	

主要令達報告等

ナシ

経過

七一八	土
海口泊	
天候半晴風向東風速二氣温三一、五	
第十五警備隊司令巡視	



		一三四五 人員交代ノタメ澎湖丸ニ横付ス
	一三〇・	同右 離ス

主要令達報告等

發草山丸船長

宛馬防司令

草山丸機密五。五番電

七月一八日交替員七名乘艇同日退隊者七名 澎湖丸  
 便乘艇隊七シム  
 (終)

經過

七一九日		海口泊
		天候曇風向南西風速五氣温三一・七

主要令達報告等

ナシ

經過

七二〇月		天候曇風向南南西風速六氣温三二・五
------	--	-------------------

			海口泊(糧食搭載)	

主要令達報告等

ナシ

經過

			海口泊	
			天候雨 風向西 風速七 氣温二九。	

主要令達報告等

ナシ

經過

			海口泊	
			天候曇 風向南南西 風速七 氣温三一。	
			沙口發移動警戒	
			馬島港着警戒泊	

主要令達報告等

ナシ

經過

七一二三木	。五。 。五。 二三。	天候曇 風向南南西 風速一五 氣温三。五 馬島港發樂民及馬石港ニ向テ警戒航行 馬島港着警戒泊
-------	-------------------	--

主要令達報告等

十シ

經過

七一二四金	二一。	天候曇 風向南東 風速四 氣温三一。 馬島港警戒泊 馬島港發移動警戒
-------	-----	--

主要令達報告等

發馬方主計長 宛一五警主計長 通報草山丸艇三

馬防機密第六五二番電

一二四。

草山丸七月分俸給ヲ支給、上馬經分任官吏ト分割、ヨリ 御取計、得度  
一、俸給四一五圓 戰給品四拾九圓五拾錢 合計四六四圓五拾錢 (終)

七 二 七 月	天候曇 風向東 風速五 氣温三一・七
------------------	--------------------

経過

主要な違報告等

ナシ

七 二 六 日	二二〇〇 二二〇〇 二二〇〇 二一〇〇 天候半晴 風向南東 風速四 氣温三一・五 洞洲島警泊 洞洲島發移動警戒 中型或克一隻路檢異狀ナシ 北海着警泊
------------------	--

経過

主要な違報告等

ナシ

七 二 五 土	一三五 天候曇 風向南東 風速五 氣温三一・〇 洞洲島着警泊
------------------	--------------------------------------

経過

一三三。	打方始ム	北海警泊
一三四。	敵或克一隻撃破一隻大被ヲ生ジタルヲ認ム	
一三四五	敵或克一隻撃沈	
一三四七	打方止メ 要具收ム	
一四三。	北海着警泊	
一三二。	冠頭角堀止、二、度九、米ニ中壘或克七隻ヲ認ム	
一三〇。	小型或克一隻臨檢異狀ナシ	
一二三。	北海發移動警戒	

主要令達報告等

發草山丸艇長

宛十五警司令

草山機密第五、七番電

一七〇。

草山丸戦闘概報

(一) 七月二十七日一三三。冠頭角海岸ニ中型戎克七隻碇泊セルヲ發見之  
 ヲ臨檢セント接近セシガ陸岸及ニ同戎克ヨリ一斉射撃シ来リシ  
 故直々ニ應戦一隻撃沈一隻炎上大破セリ

(二) 我ニ損害ナシ

(三) 發射彈數六種砲十五發 七七機銃二一三發 輕機一七  
 發 (終)

經過

七一八	火		
七〇〇	北海發移動警戒	天候晴 風向南東 風速三 氣温三一。	
七〇五	配置ニ就ク		
七三〇	冠頭角一三五度ニ〇〇米ニ大型戎克ニ隻 中型戎克 三隻漁船ニ隻碇泊セルヲ認め		

七四五	敵我克及陸岸ヨリ小銃、一斉射撃ヲ受ク
七五五	打方始ム
八二〇	打方止メ要具收ム
八二五	臨檢ヲナス
八四五	大型我克ニ隻 中型我克ニ隻 撃沈
九〇〇	北一三三。號我克曳航用意ヲナス
九二〇	同右終了
一〇〇〇	同右我克ヲ曳航北海發移動警戒
一六二〇	洞洲島着警泊

主要令達報告等

發草山丸艇長

宛十五警司令

草山機密第五、八番電

一七〇〇

(一) 七月二十八日。八。冠頭角ノ一三五度ニ。米ニ密輸大型我克

二隻中型我克三隻發見臨檢セト接近セシニ一齊射撃シ来リ  
シ故直チニ應戰大型ニ隻中型ニ隻撃沈中型一隻拿捕岩  
塩満載洞洲島ニ曳航セリ

二、我ニ損害ナシ

(三) 發射彈數六粒砲三五發 七七粒機銃五發

輕機小銃一四發

發草山丸艇長

宛洞洲島指揮官

岩塩満載我克一隻受取一度

(終)

經過

七一 二九	水	洞洲島警泊
天候曇 風向南西 風速三 氣温三、五		

主要命令達報告等

發一五警主計長

宛草山丸艇長馬防主計長



機密第二三二番電

〇九〇〇

馬防機密第六五二番電ニ依ル草山丸交付金四六四圓五〇錢ヲ

七月二十八日附カリラニテ交付

(終)

経過

七三〇	木	〇二〇〇 〇二五五	天候曇 風向東 風速一五 気温二九・五
			荒天ノ為ニ艀錨
			瀨洲島警泊

主要令達報告等

機密第一五警司令

宛草山丸船長一五警司令部

機密二四九番電

二二五

機密第一五警電令六七

一貽風(示度七三五耗米)ハ明三日午前海南島ヲ通過ノ見込ナリ

各隊各船ハ保安ヲシテ風水害ニ對シ警戒ヲ嚴メセヨ

1821

二各隊船ハ明朝迄ハ悉ク天津備ヲナセ

經過

七一三一金

天津南 風向東  
瀾洲島 警告泊

風速五

氣温二〇。〇

主要命令 達報告等

發海南警備府軍醫長

死 海南部隊各所隊長 事務局長  
海南警備隊長

機密第一四四番電

一六二。

海口方面コレヲ報(第二報)七月三十一日保蘭者一名(中國人)  
發生七月二十三日初發以來患者一名 保蘭者一名 計二名

(終)

(終)

自昭和十七年七月一日  
至昭和十七年八月一日

戦時日誌

馬公防備隊草山丸  
(戦開之部)

月日	曜	天	所在	主記事
七一	水	雨	香港	身体検査 香港 警洵
七二	木	雨	香港	15K 電機機及電路手入 香港 警洵
七三	金	曇	香港	3K 電機機手入 香港 警洵
七四	土	曇	九龍	〇七五五 香港電報箱 〇八二〇 九龍軍需部核檢付 一 彈重油拾粒 一 彈普通揮電油五四〇立三 塊炭一 砲 赤屑二十五粒 拾載
七五	日	曇	牛角山	〇七五〇 九龍電移動警洵 一九〇 牛角山着 警洵
七六	月	曇	南明島	〇七五五 牛角山電移動警洵 一七三五 南明島着 警洵
七七	火	晴	大竹洲島	〇七五〇 南明島電移動警洵 一〇五〇 大竹洲島着 警洵
七八	水	晴	海口	二〇一〇 海口着 海口泊
七九	木	晴	海口	總員換便服 以消毒 海口泊

七〇	金曇海口	總負檢便能内消毒海口泊
七二	土晴海口	機械取り海口泊
七三	日曇海口	主機械塗松海口泊
七四	月曇海口	主機械並補助機械塗松海口泊
七五	火晴海口	室内斧銹部入り海口泊
七六	水晴海口	室内手入眞水搭載海口泊
七七	木晴海口	室内斧銹部及金物入り一九五海口乾鎔
七八	土晴海口	一九五。海口着海口泊
七九	金曇海口	巡視準備一三五海口乾鎔一三〇海口着海口泊
八〇	土晴海口	司令巡視二〇海口乾一三〇澎湖丸横付山下機曹 松本機伊藤一機東健吉川一機曹長嶺一機立木 一機退機一八五乾一八四五海口着海口泊

七九	七〇	七一	七二	七三	七四	七五	七六
日	月	火	水	木	金	土	日
晴	曇	晴	晴	晴	晴	晴	晴
海口	海口	海口	馬島港	馬島港	馬島港	潤洲島	北海
了凡電機電路手入半島陸上散步海口警行	糧食搭載半島陸上散步海口泊	諸装置研究海口泊	出港準備諸装置研究一二。海口港一八五五馬島港着馬島港警行	〇五。馬島港飛樂民及馬島港。向ヶ警行	二三。馬島港着馬島港警行	諸装置研究航海準備二〇。馬島港飛警行	戒飛行 前日引續々警行一〇三。潤洲島着機 械取り込み手入 諸装置研究航海準備一五。潤洲島飛 警行二一。北海着北海警行

七五	月	雲	北海	主機被掛外接手手入一三三北海着移動警戒
七六	火	晴	潤洲島	敵斗一四〇北海着北海警戒 〇七〇北海着移動警戒 敵斗式克受航潤洲島 着潤洲島警戒泊
七元	水	晴	潤洲島	15. 七四着電機及金物手入主機被系停操敵訓 練潤洲島警戒泊
七〇	木	曇	潤洲島	〇二〇着取錨〇三〇投錨室内手入潤洲島警戒泊
七一	金	雨	潤洲島	月頭報告準備並航海準備潤洲島警戒泊

# 機 關 動 作 表

期間昭和17年7月

作 役 戰 方 面	艦 種 艦 名	任 務	投 錨 年月日	着 陸 地 名	投 錨 年月日	原 速 (節)	運 轉 時 數 (時分)	總 行 程 (哩)	燃 料		潤 滑 油 外 部 油 類 油 (立)	行 動 用 油 庫 (升)	平 均 吃 水 (米)	出 港 出 來 年月日
									L (噸)	K (立)				
海 南 方 面 部 隊 十 五 警 備 隊	特 設 驅 潛 艦 馬 公 防 備 隊 草 山 丸	轉 錨	7-4	香港—九龍	7-4	7.5	0-25	0.5	0.008		1	0.3	2.25	昭和十七年 四月十四日
		移動警戒	7-5	九龍—牛角山	7-5	"	11-10	68.0	0.180		5	0.8	"	
		"	7-6	牛角山—南朋島	7-6	"	10-0	60.0	0.160		5	0.5	"	
		"	7-7	南朋島—大竹洲島	7-7	"	8-15	50.0	0.130		4	0.5	"	
		"	7-8	大竹洲島—海口	7-8	"	20-15	130.0	0.325		10	0.5	"	
		轉 錨	7-18	海口—海口	7-18	"	0-45	0.4	0.024		0.5	0.1	2.3	
		移動警戒	7-22	海口—馬島港	7-22	"	7-0	33.0	0.140		1.5	1	2.27	
		"	7-23	馬島港—馬島港	7-23	"	18-30	120.0	0.360		5	3.3	"	
		"	7-24	馬島港—瀾洲島	7-25	"	13-30	77.0	0.263		3	3	2.25	
		"	7-26	瀾洲島—北海	7-26	"	6-0	66.0	0.120		3	2	"	
		"	7-27	北海—北海	7-27	"	1-30	10.0	0.028		1	1	2.24	
		"	7-28	北海—瀾洲島	7-28	"	9-0	42.0	0.180		4	1	"	
		轉 錨	7-30	瀾洲島—瀾洲島	7-30	"	1-0	0.5	0.020		1	1	"	
		合 計							107-20	657.4	1.958		44	



## 機關使用時數表

發電機	主機	期	艦	艦	役	作
使用時數(時)	制式及數	間	名	種	務	戰方面
二六一三〇	四サイクル直流発電機 一	自昭和十七年七月三十一日 至昭和十七年七月三十一日	馬公防備隊 草山丸	特設駆潜艇	十五級警備隊	海南方面部隊

1830

軍極秘

昭和十七年七月分

第一五警備隊 草山丸 戰鬥詳報

馬公防備隊

小番號 14

調査 17.8.11

# 草山丸戰鬥詳報

昭和十七年七月二十七日

自一三二〇  
至一四三〇

## 一 情況及目的

1. 北海方面ニ對スル佛印國境東與方面ヨリスル敵性物資、密輸ハ益々困難ナル情況ニ入ルモ今猶ホ機ヲ見テ我方ノ嚴重ナル哨戒線ヲ突破特ニ暗夜ニ曉リ利用シ先堪地其他小銃等、武器ヲ備ヘタル大型或克ヲ以テ強行密輸ヲナシタル情況確實ナリ

口右如キ情報ニ基キ本艦該方面ニ於ケル警戒監視ヲ嚴ニスルト共ニ密輸或克掃蕩ノ目的ヲ七月二十七日ニ至。冠領南附近移動警戒中同境址ニ。度凡。米海岸ニ中型或克七隻被泊スルヲ認メタル為メ實情調査スベク遠淺ノ海面ニモ拘ラス接近セントシタル時早クモ敵或克ノ乘員ハ背後ノ陸上ニ昇リ我々待機シ至ルモノノ如ク忽チ小銃一斉射撃ヲ受テ我方向ヲ度ジツツ六糧砲並機銃發射ヲ以テ應戰シ一隻擊沈尚一隻ヲ大破セシメタルモ荒天ト遠淺ノメテ機或克ノ接近スルアタワズ

二 戰關對勢圖別圖：通り  
 三 行動地：終過

月	日	曜日	時刻	記
七	一	七	月	
事				
天候曇風向東 風速五 氣温五・七 冠頭角墟址、二、度九、米、中型或克七隻旋泊ヲ認め 配置ニ就ク				
一三二六 敵式克ヨリ陸上ニ降り我ヲ待機セルヲ認め				
一三二五 敵小銃一齊射撃ヲ認め				
一三三〇 打方始ム				
一三四〇 敵式克一隻火災撃沈一隻大破セルヲ認め				
一三四七 打方止ム 要具收ム				
一四三〇 北海着警泊				

四 成果柱ニ所見

中型式克一隻火災撃沈一隻大破陸上家屋多火、損害ヲ與フ

口我ニ損害ナシ

ハ發射彈數六粒砲一五 七七機銃二二三 輕機小銃一七。

ニ敵式克、武裝ニ依ル密輸ハ物資極度、欠乏ト認ムレバ此機ヲ

逸セ不益撃滅ヲ嚴重スルト共ニ撤退的處合ヲナス、要必然ナ

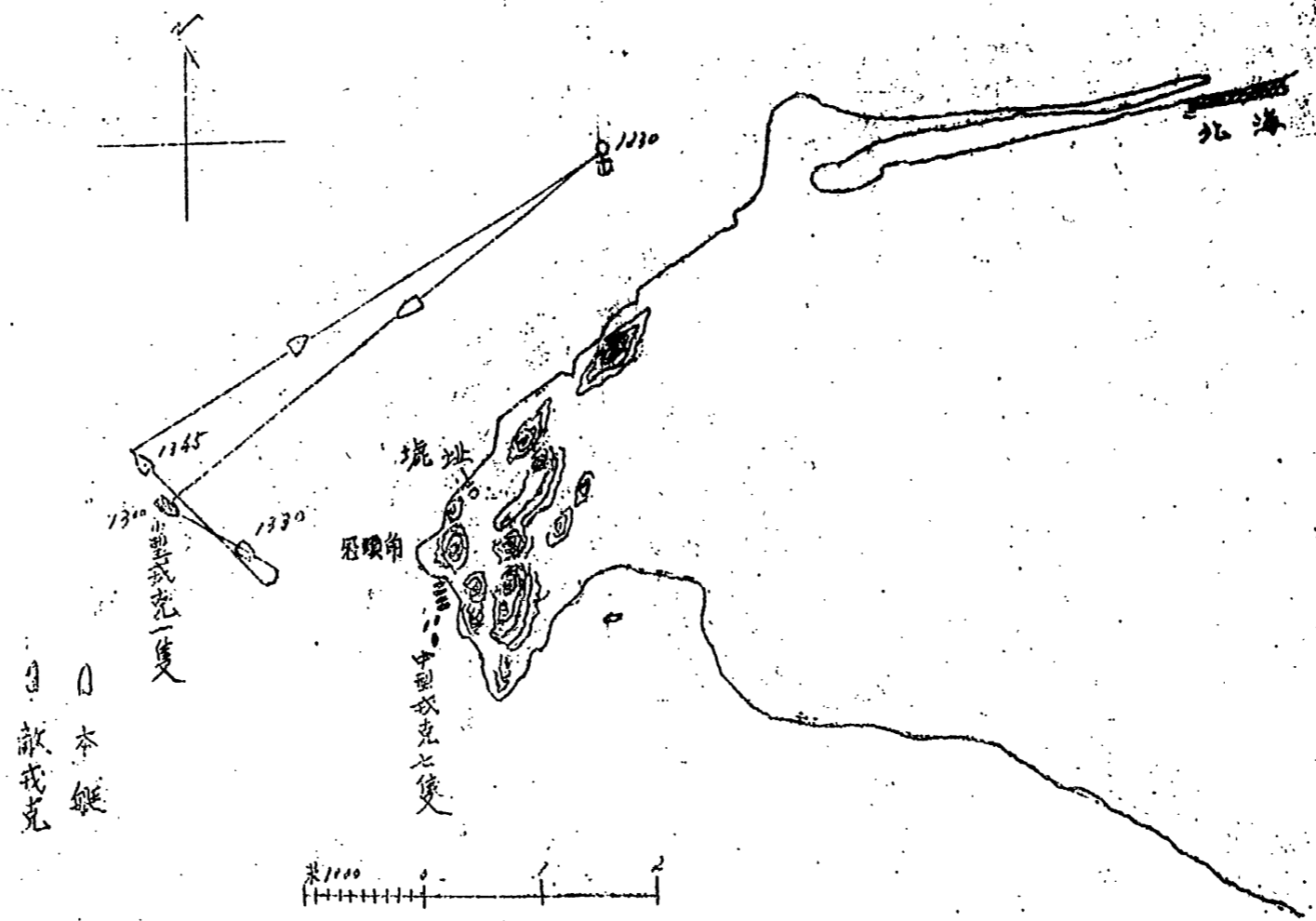
リト認ム

(終)

1834

Imp

戰鬥對勢圖



日本艦  
敵我克

1330  
1345  
一隻

琉球  
冠嶺角  
中國攻克七隻

草山丸戰鬥詳報

昭和十七年七月二十八日 頁。七五五

一、情況茲ニ目的

北海方面、敵性物資、密輸ハ日々重ナルニ從ヒ益々其ノ量リ増ス、情況ニアリ物資、欠乏ハ敵ヨシテ死活問題ナルヲ以テ強行密輸ヲナサシメ此ノ援助ニ依リ長期戦ニ備ウベク我が嚴重ナル哨戒線ヲ生命ヲ賭シテ暗夜迄ニ夜明ヲ利用シ密輸船因トモ言フベキ團体的行動ヲナスノ情況ニアリ

右ノ如キ情況ニ基キ本艇ハ昨日ヨリ引續キ當方面、移動警戒中七月二十八日・七三〇冠頭角、一三五度ニ。米地突ニ敵密輸船大型式克ニ隻中型式克三隻ハ淺船、碇泊セル錨地ニ混入シ巧ニ姿ヲ紛スガ如クニ碇泊セルヲ發見シタリ依テ直ニ臨檢スベク六顆砲ヲ以テ威嚇射撃ヲ行ヒツ錨地ニ接近シタル時陸岸ヨリ一齊射撃ヲ以テ頑固トシテ抵抗スルヲ以テ艇ノ前進ヲ有効射撃

月日	曜日	時刻	記
七月二十八	火		<p>天候晴 風向南東 風速三 氣温三一。</p> <p>北海發移動警戒</p> <p>七。五 配置ニ就リ</p> <p>七三。 冠頭角ノハ三五度ニ。米ニ大型式克ニ隻中</p> <p>型式克三隻 澳船ニ隻 碇泊セルヲ認ム</p>

二 戰鬪對勢圖列圖、通り

巨艦ニ置キ六程砲塔ニ機銃輕機小銃、射撃ヲ以テ應戰  
 シ遂ニ大型式克ニ隻及中型式克ニ隻ヲ撃沈セリ是ハ爲メ敵  
 精神の打撃大ニシテ右方左方スル間ヲ利用シ勇ヲ以テ突  
 入中型式克ヲ一隻拿捕シ沖ヘ引キ出シ臨檢セシニ若塩荷載  
 ノセナリシヲ以テ當日、好天候ヲ良シトシ濶洲島ヘ曳航ス



七四五	敵我克及ビ陸岸ヨリ小銃ノ一齋射撃ヲ受ク	
七五五	打方始ム	
八二〇	打方止メ要具收ム	
八二五	臨檢ヲナス	
八四五	大型我克ニ隻中型我克ニ隻撃沈	
九〇〇	北一三三ノ號我克曳航用意ヲナス	
九二〇	同右終了	
一〇〇〇	同右我克ヲ曳航北海發移動警戒	
一六二〇	瀾洲島着	

四、成果並ニ所見

イ、大型我克ニ隻中型我克ニ隻撃沈北一三三ノ號我克ハ

隻拿捕瀾洲島ニ曳航セリ

ロ、我ハ損害ナシ

ハ 發射彈數六種砲三五發 七七機銃五發

輕機小銃一四發

ニ 敵性密輸戎克、活躍セル雷洲半島以西、沿岸ハ遠淺、  
為メ本艇、如キ船艇ハ仲々陸岸ニ接近シ難キ為メ密輸  
戎克ヲシテ該ニ安全地矣ト共言フベキ該地方ニ頻繁ニ行ハ  
セルハ該ニ遺憾トス

機關動作表 期間昭和17年8月

作戦方面	艦種	任務	投錨年月日	發着地名	原速(節)	運轉時數(時分)	總行程(哩)	燃料		潤滑油	行動用(二號外部磁油)	行動用(一號外部磁油)	平均吃水(米)	最近出渠年月日		
								L(立)	K(立)							
															運給用	二號内部磁油
海南方面部隊第十五警戒隊	特設艦隊司令部防備隊草山丸	移動警戒	17-8-1	瀾洲島—海口	7.5	11-0	93.0	300	0	0	3	2	2.20	昭和17年四月十四日		
		"	3	海口—海南灣	4	4-45	26.0	95	2	1	2	0.5	"			
		"	4	海南灣—鋪前角	4	5-15	39.0	95	2	1	2	0.5	"			
		"	5	鋪前角—海口	5	3-0	35.0	55	2	1	1	0.5	2.30			
		"	7	海口—山仔村	7	9-0	42.0	190	2	1	3	0.5	"			
		"	8	山仔村—清瀾	8	11-35	72.0	300	3	1	3	1	"			
		"	9	清瀾—清瀾	9	9-30	42.0	195	2	1	2	0.5	"			
		"	10	" — "	10	10-0	52.0	185	2	1	2	0.5	2.25			
		系運死出作業及海救助	11	" — "	11	7-0	20.0	140	2	1	2	0.5	"			
		"	12	" — "	12	10-0	63.0	185	2	1	2	0.5	"			
		移動警戒	13	" — "	13	10-0	65.0	185	2	1	2	1	2.20			
		"	14	" — "	14	5-35	35.0	100	1	1	1	1	"			
		"	16	" — "	16	8-0	60.0	140	2	1	2	1	"			
		"	18	" — "	18	0-40	65.0	145	2	1	2	1	"			
		"	21	清瀾—海口	21	15-30	110.0	380	4	2	3	2.5	2.20			
		"	29	海口—清瀾沖	29	16-10	95.0	350	4	2	4	2.5	2.10			
		"	30	清瀾沖—新村港	30	13-10	100.0	280	3	2	3	1.5	2.10			
		"	31	新村港—榆林	31	5-0	35.0	110	1	1	1	0.5	2.10			
		合計						168-10	1027.0	3190	38	20	40		18	